

11月9日～11月15日 秋の火災予防運動実施中

# 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

## 4つの習慣



1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

3 こんろを使うときは火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

## 6つの対策

<p>過熱防止センサー</p> <p>出火防止</p>	<p>定期的な点検</p> <p>ボタンを押す</p> <p>ひもを引く</p> <p>早期覚知</p>	<p>防火</p> <p>延焼拡大防止</p> <p>防火カーテン</p> <p>防火アームカバー</p> <p>防火エプロン</p>
<p>1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する</p>	<p>2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する</p>	<p>3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する</p>
<p>初期消火</p>	<p>早期避難</p>	<p>地域の助け合い</p>
<p>4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく</p>	<p>5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく</p>	<p>6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う</p>

# その住宅用火災警報器、 取り替え時期ではないですか？

住宅用火災警報器の寿命は、おおむね10年とされており、10年以上経過した場合には、本体ごと交換する必要があります。

10年経ったら交換しましょう



## 1. 点検方法は？



1か月に1回程度、住宅用火災警報器のボタンを押す、ひもを引くなどして点検してください。

※ 音が鳴らない場合、故障か電池切れが考えられます。取り替えの時期かもしれません。

## 2. どこで買えるの？

ホームセンターや電器店で購入できます。

## 3. 設置の効果は？

～ 奏功事例 ～

就寝中、掛け布団が電気ストーブに触れる

ふとんを焦がし、寝室の住警器が鳴動

急いで水をかけ、大事に至らず



自ら気付いて消火！



寝室で感知  
住警器が鳴動



住宅火災で亡くなった方の多くは逃げ遅れによるものです。

住宅用火災警報器を設置することで、いち早く火災を察知することができます。

設置後は定期的に点検をしましょう。  
ご不明な点は消防署にお問い合わせください。

松本広域連合  
広丘消防署  
電話 0263-54-3010